

一 般 質 問 通 告 書

令和 6 年 11 月 7 日

議 会 議 長 様

議席番号 2 番

議員氏名 市 毛 大 助

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1 . 町 の 財 政 健全化策は	令和5年度決算による財政指標については、財政力指数が0.72、光熱水費をはじめとした維持管理費や経常的な扶助費の増加などにより、経常収支比率が91.1%、義務的経費比率が44.6%と上昇傾向となっており、財政の硬直化が進行していますが、財政健全化対策をどのように行うのか以下伺います。 (1) 今後の行政需要の変化に対応するよう、将来の負担等のバランスを考慮した計画的な財政運営とは、どのようなことが考えられるか。 (2) 町税収入の減少、財政調整基金からの繰入れ増加など、今後の財政運営には多くの課題が残るが、どのような対策を考えているのか。 (3) 国民健康保険制度では相互扶助の理念の下、国及び県の負担金で賄われる公費部分を除いた残りの部分は、被保険者からの保険税を充てる「受益者負担」が原則であり、一般会計からの繰入金は公平公正ではないと思う。そこで公平公正な政策とはいかなるものか。 (4) 歳入増の政策はどのようなことが考えられるのか。 (5) ふるさと納税は歳入増には有効的な政策である。 茨城県境町の橋本町長は、町長就任時には6万5千円であったふるさと納税を、現在99億円に押し上げた。そこで町は、ふるさと納税による歳入を増加させ、歳入確保につなげる政策をどのように考え、行っているのか。	町長 副町長 総合政策課長 町民課長 担当課長

11月 7日 午前・午後10時30分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 町道の緊急改修について	(1) 町道1702号線については舗装から長期間経過し、路面の沈下、亀裂、路肩崩壊が発生し安全な交通の支障になっている。特に並塚175番地先では、隣接水路に向かって舗装が下がった状態となっているため早急な対策が必要である。 当該道路の危険性、緊急性、必要性を精査の上、早急に対策を講じるよう求めるが、当局の見解は。 (2) 約10億円かけた複合施設であるすぎと幼稚園・すぎと保育園が開設され8年経ったが、いまだに県道次木杉戸線と交わる町道Ⅱ級10号線が狭あいな状態で、南及び南東方面からの来訪者には不便である。車がすれ違える道路に拡幅する計画はないのか伺う。	町長 副町長 教育長 都市施設整備課長 子育て支援課長 担当課長